

[長崎市理財部資産経営室からのお知らせです。]

# 公共施設の将来のあり方を考える市民対話《三重地区》

## 第1回 開催報告

ご参加いただいた皆さま  
ありがとうございました。

**日時** 令和3年9月25日(土) 14:30~16:30

**場所** 三重地区公民館 集会場

**参加者** 地域の皆さん 約40人



人口減少や少子高齢化が進む中であっても、暮らしやすいまちであり続けるために、三重地区にある公共施設はこれからどうあったら良いのか・・・将来に向けた公共施設のあり方を皆さんと一緒に考えていきたいと思い、市民対話を開催しました。

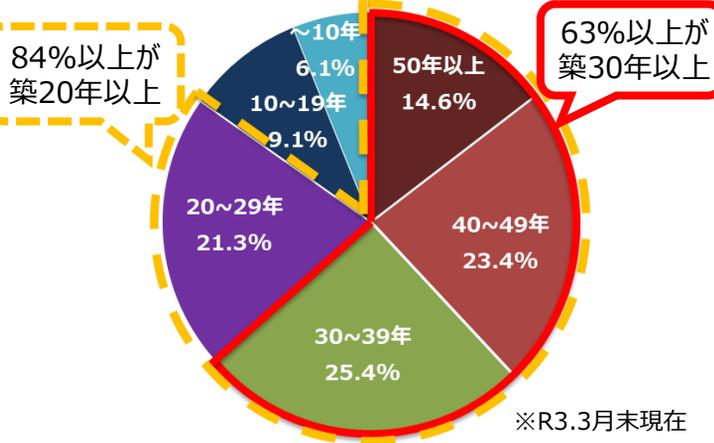
※手指消毒、換気、マスク等の新型コロナウイルス感染対策を行い、開催しました。

### 1 いま起きている“変化”と状況

#### 公共施設が古くなってきています

- ・市の公共施設（建物）の6割以上が建築後30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・今後、修理や建替えの時期を一齐に迎えます。

#### <施設の築年数と施設の量（床面積）の割合>



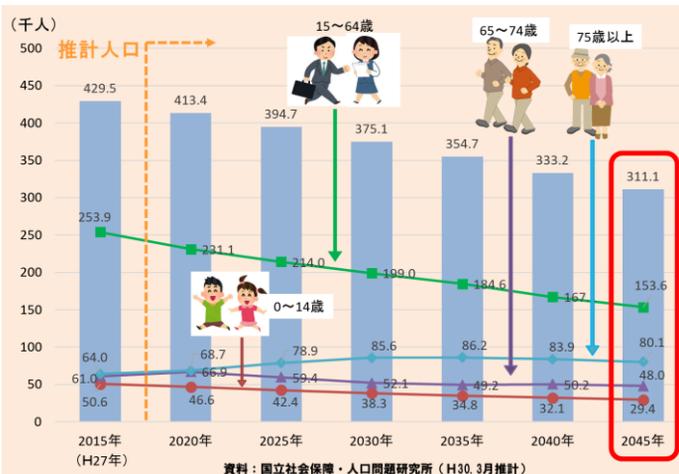
#### 人口減少・少子高齢化が進んでいます

- ・長崎市の人口は、2045年には約31万人にまで減少すると予測され、それに伴い施設の利用者も減少していくことが予想されます。
- ・「働く世代」の人口が大きく減少して**税収が減少することが予想**されます。
- ・今後も高齢化が進み、**福祉や医療にあてる費用が増えることが予想**されます。
- ・このため、**公共施設の修理や建替えにあてる費用は限られて**しまいます。

#### 私たちのまわりで起きている変化



#### <人口の将来予想>



- ・高度成長の時代を経て、私たちの暮らしは豊かになってきました。しかし一方で、近年では人口減少や少子化、高齢化、ひとり暮らし世帯の増加といった問題や大雨による地滑り、台風、津波などの自然災害の増加による、防災に対する意識の変化など、私たちのまわりでは様々な変化が起きています。

## 新型コロナウイルスの流行による変化も

### ●コロナ禍での変化

- ・コンビニで住民票等の取得
- ・スマートフォンなどを使用した電子納税
- ・テレワークの普及
- ・オンライン会議の活用 etc....



### コロナの終息後も、新しい生活様式が当たり前



・「新型コロナウイルス」が世界中で流行し、スマートフォンを利用したサービスの提供やテレワーク、オンライン会議の普及、「新しい生活様式」など働き方や生活の新たな常識「ニューノーマル」時代へと変化しています。

## 2 長崎市の現状

### 人口減少

公共施設の  
利用者の減少

なのに

公共施設の量は  
そのまま



### 少子高齢化

医療・介護など福祉  
にあてる予算の増大

なのに

古くなった公共施設の  
修理に費用がかかる



## 3 コロナ禍を契機として

### コロナ禍を契機として.....

- ・行政サービスの提供方法の変化
- ・公共施設の在り方を見直す必要性

コロナ禍を契機として、スマートフォンを活用し非接触での行政サービスの提供方法へ変化がみられるようになっており、このような変化のなか、これからも暮らしやすさを維持していくためには、社会のいろいろな「しくみ」を見直していく必要があります。

その中の一つとして、公共施設の使い方の見直しに取り組んでいくことも必要と考えます。

## 4 三重地区の現状

### 1 三重地区の将来推計人口

人口は30年で25%程度の増



2015年で約1万9千人の人口が、30年後には2万4千人程度になると予想されています。

三重地区は、市内でも数少ない人口増加地区となっています。

## グループでの話し合い

### 「地区内にある施設の課題等」「市の考える施設の基本的な配置に対する意見」について考えよう

- 三重地区の将来を考えるうえで、地区内にある施設の課題などは何ですか。
- 市の考える施設の基本的な配置に対して、どう思いますか。思い浮かんだことを書き出してもらい、班で話し合いました。

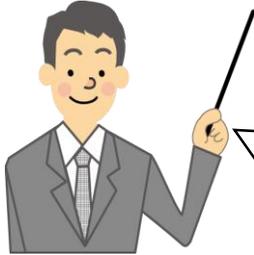


# 5 公共施設のあり方についての考え方

また、どのように公共施設を考えていくかについても、お話ししました。

まず大切なことは…

**施設を見直すことは、行政サービスを無くすことではありません。**



施設の見直しとは、あくまでも施設のあり方や使い方を考えるということです。仮に施設が減っても、そこで行われていた生活に必要なサービスを無くすことではありません。

<工夫した使い方の例>

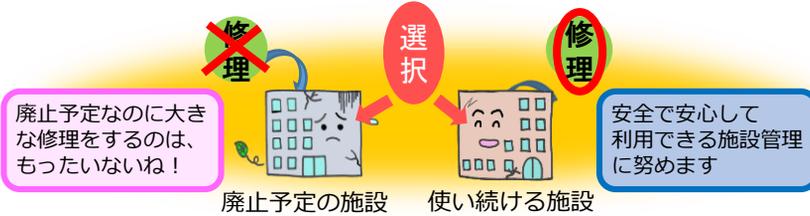


建物は減っても… サービスは残る

## 考え方

考え方には、大きく2つの手法があります。

**考え方1** 同じような使われ方をしている施設では、施設を選ぶ



使い続ける施設と将来廃止予定の施設を分けて、使い続ける期間に合わせた適切な修理をします。

**考え方2** 使われていないスペースがある施設では、施設をまとめる



建物が減っても工夫することで活動は続けられ、新たな交流も生まれます。

## 公共施設を考える時の視点

次の7つの視点で施設を考えていきます。

建築年数や修理の状況



地震に強い建物か



よく利用されているか



使っていない部屋はないか



同じような使われかたをしている建物がないか



修理などにお金が掛かりすぎていないか



バリアフリーに対応しているか



## グループでの話し合いの様子



## 6 長崎市全体の公共施設の基本的な配置の考え方

### コミュニティ活動施設



- ❁地域の皆さんが身近にふれあい、さまざまな活動を行っていく場所として、気軽に立ち寄ることができる地域コミュニティ活動の場はこれからも必要です。
- ❁今後は、ふれあいセンターや地区公民館などに加え、特定の年齢層を利用対象とした老人憩の家や児童館・児童センターなどの施設も、将来的に、多世代が利用できる施設へ利用方法や機能を見直し、身近な場所で、地域の子どもから高齢者までの多世代が活動する場を維持していきます。



三重地区市民センター



三重地区公民館



老人憩の家舞の浜荘

### 広域的利用として配置する施設

- 中学校区を超えた大規模な催しや講座等に対応できる広いスペースや、ホールなど特定の設備が必要な広域的に利用できる施設は、長崎市の都市計画上の地域拠点または交通の便の良い場所への配置を考えています。

### 中学校区に配置する施設

- 多数の参加が見込まれる活動や行事などのため、小学校区の施設よりも広いスペースや調理室などの特定の設備が必要な施設については、小学校区に配置する施設を兼ねる形で、概ね中学校区への配置を考えています。

### 小学校区に配置する施設

- 地域の皆さんが最も身近な場所で、地域の話合いなど、さまざまな地域活動に利用する地域コミュニティの活動拠点は、概ね小学校区の範囲への配置を考えています。

### 中学校区

#### 小学校区

- 集会室
- 和室
- 給湯室

…等



- 集会室
  - 会議室
  - 和室
  - 調理室
  - 事務室兼図書室
- …等



## グループでの話し合いの様子



## 6 長崎市全体の公共施設の基本的な配置の考え方（つづき）

### 公園

公園には、「防災や避難等災害に対応できる機能の確保」、「複合遊具等を活用した魅力的な子どもの遊び場の創出」、「スポーツ施設等での利用」、「健康づくりのための機能の導入」など、多様なニーズへの対応が求められています。

#### 公園の種別と標準面積、利用目的

公園種別	標準面積
総合公園	利用目的に応じて適宜
運動公園	利用目的に応じて適宜
地区公園	4.0ha(40,000㎡)
近隣公園	2.0ha(20,000㎡)
街区公園	0.1ha(1,000㎡)

- 総合公園…都市住民全般の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供する
- 運動公園…都市住民全般の主として運動の用に供する
- 地区公園…主として徒歩圏内に居住する者の利用に供する
- 近隣公園…主として近隣に居住する者の利用に供する
- 街区公園…主として街区内に居住する者の利用に供する



京泊公園



鳴見台近隣公園



さくらの里中央公園



さくらの里西公園



あじさい公園

### スポーツ施設



スポーツ施設は、生涯にわたってスポーツに関わることで、健康で豊かな生活を送ることができ、また、競技力の向上を図ることで、地元選手が活躍できるよう、その活動の場として、重要な役割を担っています。

#### 地区施設の利用形態



- 地域の皆さんの身近なところには、気軽にスポーツに親しむことができる場として、公園機能の一つとして配置されているグラウンドを継続して配置する考えです。また、街区公園等の広場、ふれあいセンター等の軽スポーツ室の活用、学校の体育館などの開放を進めています。

#### 複数地区施設の利用形態



- 地域における生涯スポーツの推進及び競技スポーツの競技力向上を図るため、市内の中央、東部、南部、北部の4つの地域内において、各地区からの交通の便が良い場所(地域拠点又は交通結節点)に配置する考えです。また、将来は人口減少に伴い利用者の減少が見込まれるため、施設の利用状況などを踏まえ、人口減少に伴う利用者の減少を推計し、将来の利用人口に応じて施設の集約化を図り、施設規模の見直しを行います。



三重体育館

### 市営住宅



- 今後、人口や世帯数が減少し、市営住宅の需要は減ると予想されます。そのため、民間住宅市場で最低居住水準を確保できない低額所得者や、入居制限を受ける可能性がある高齢者や障害者、子育て世帯等の住居困窮度の高い世帯などの、真に救済すべき世帯の最低限の安全な暮らしを守る役割を担いながら、将来的には市全体の市営住宅の総戸数を減らしていく方針です。



三重住宅

# ★グループでの話し合いで出された主な意見

グループで話し合っていた内容について、班ごとに発表していただきました。

- 1班  
三重地区公民館は老朽化しているが、この場所に残してほしいので、地域センターと同時に建替えたら、一緒にできないだろうか。それに防災センターの機能を追加してほしい。
- 舞の浜荘は憩いの場として残してほしい。また、将来的に三重体育館と一緒にできないだろうか。

- 2班  
舞の浜荘は祖父母が楽しく利用しているのに、無くなるのは寂しい。また、使用用途が限られているのもったいないので、高齢者に限らずみんなが利用できるようにしていけばよいのではないかな。
- 三重地区市民センターの駐車場が狭く、停められなくて困ることがある。もう少し駐車スペースを広くできれば、色々な人が利用できるようになる。
- さくらの里に照明設備があれば、夜のランニングなどもっと利用する人が増えるのではないかな。
- コミュニティ施設の場所やどういったことに使えるのかわからないので情報発信してほしい。

- 3班  
三重体育館はハザードマップ上、土砂災害警戒区域に建っている。さくらの里にはテニスコート等もあるので、そういったところに建替えできないだろうか。
- 鳴見台小学校区にコミュニティ活動施設がない。ふれあいセンターなどの施設ができないだろうか。
- 三重中学校の体育館は生徒数に対して狭く、避難所に指定されているが、毎年台風などによる被害が出ている。

- 4班  
小学校の校庭を休日などに開放したり、公園に木陰をつくるなどすれば、短時間ではなく子どもたちがゆっくり遊ぶことができる。
- 子連れで利用しやすいようにトイレや授乳室などをもう少し充実すれば、子育て世代の親が公共施設をもっと利用しようとするきっかけになる。
- イベントがある際、コミュニティバスを出す等のソフト面の充実があれば、もっと使いやすくなるのではないかな。

- 5班  
各公共施設の駐車場が少し足りないのではないかな。
- 借りたいときにどこで借りるのか、借りるときは有料なのかといった、施設の情報発信をして欲しい。

- 6班  
三重地区公民館に歴史資料館など若者に魅力のある施設をつくれれば、畝刈のように人が集まるようになり、発展につながるのではないかな。
- 三重地区市民センターは、椅子の出し入れが少し面倒くさい。
- 高齢者のために、移動スーパーを端々まで来るようにしてほしい。また、タクシーの料金が高いので、ワンコインタクシーの推進をしてほしい。

- 7班  
三重地区公民館は避難所になっているが、エレベーターが無く、2階には洋式トイレが無い。設置を検討してほしい。
- 三重地区市民センターのサービスコーナーは、受付事務しかしていない。三重地区はこれから子供も増えるので、登録事務までできる施設にできないかな。
- さくらの里は東側にしかトイレがない。西側には大きな駐車場があるがそちらにはないので、西側にも1か所トイレを設けてほしい。
- 三重地域センターの場所がわかりづらい。

## 【講評】（アドバイザー：東京都立大学 都市環境学部 讃岐亮 先生）

- 駐車場の問題については、イベント時にコミュニティバスを出すなどして、みなさんが必ずしも車を使わなくてもいい状況を作り出すことが必要など、どう改善していけばよいかというアイデアが出たことがとても重要です。
- どんな公共施設があるのか知られていない面もあることを確認しました。また、年代ごとに利用できそうな施設の情報を共有することで、より使いよくなるのでは、という意見もいただきました。これらの情報を共有する場があれば、皆さんにより主体的に、まちづくりや施設活用・運営に関わってもらえるのではと思います。



## 次回の対話では・・・

長崎市から個別の公共施設の配置の考え方をお示したうえで、その考え方に対して、地域にお住まいだからこそわかる実情などを踏まえた、ご意見やアイデア等をお聞かせいただきたいと思っております。

第2回 日時：令和3年11月14日（日）14：00～16：00

場所：三重地区公民館 集会場

◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室（☎直通：095-829-1412）